

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

新栄地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

##### 【現状】

『都筑区』の平均年齢は 41.75 歳（平成 30 年 1 月現在）で、横浜市内で一番若い区となっています。新栄地域ケアプラザのエリアは、連合町内会ごとに、「かちだ地区」「新栄早淵地区」「勝田茅ヶ崎地区」「茅ヶ崎南 MGCRS 地区」であり、それぞれに特徴がありますが、おおよそ、センター南駅を中心とした新しく開発された地域や、早淵の新興住宅エリアは、15 歳未満の年少人口が高い水準を維持しています。一方、「かちだ団地」は 65 歳以上の割合が 55.8% であり、平均年齢が 59 歳となっています。さらに、「新栄早淵地区」は高齢者専用の大型住宅もあり、ケアプラザエリア内の高齢者割合を上げている要因となっています。

当ケアプラザエリアの地域特性として、

- ア 高齢化がさらに進み、要援護者（高齢者や障がい者など）の見守り、また、孤立化を防ぐために、身近な地域での交流の場の確保が必要です。
- イ 地域活動の担い手の発掘と育成などを通じて、支援者を増やすとともに、住民同士のつながりづくりを進める必要があります。
- ウ 子育て世代の支援のために、子育て支援事業の継続と、さらなる充実が必要です。
- エ 災害時要援護者への支援の仕組みづくりが必要です。
- オ 健康寿命を延ばし、健康で自立した生活を築くことが重要です。

これらの課題解決にあたっては、エリアや圏域の枠にとらわれず、各地域の特性に合わせて支援を展開していくことが重要であると考えています。

現状としては、4 地区とも連合自治会・地区社会福祉協議会を中心に地域課題解決に取り組んでいることから、ケアプラザではさらに地域アセスメントを充実させて地域の特性を六職種で把握し、地域の活動や会合等を通してそれらの情報を地域と共有し、課題解決を図っています。さらに、地域の主体性を尊重しながら、地域福祉保健計画の推進と地域ニーズに合った地域支援を展開していきます。

## (2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- (ア) 六職種会議を定例開催し、情報交換を密に行い、事業の充実と気になるお客様の支援につなげました。
- (イ) 地域包括支援センターが中心となって各専門機関等と連携して連続講座を開催し、法律などの無料相談会を実施しました。

## (3) 各事業の連携

- (ア) 毎月開催の六職種会議で情報交換を行い、地域アセスメントシートを作成しました。
- (イ) 地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会の定例会等に参加し、情報共有に努めました。また、地域行事には積極的に参加して出張講座や体操等を行いました。趣味の講座、認知症サポーター養成講座・健康づくり・介護予防事業・地域ケア会議等を実施しました。

## (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- (ア) 一定の資格要件及び人員配置規準に従い、職員を配置しました。また、サブコーディネーターや事務職員を適切に配置し、業務を効率よく実施しました。
- (イ) 年度当初に研修計画をたて、実施しました。また、法人本部と協力し、採用年次による階層別研修・フォローアップ研修の実施や各種専門職の定例会議に参加し、質を高める取組を行いました。外部研修にも積極的に参加し、専門職としての知識や対応方法など研鑽に努めました。  
研修に参加した職員は、研修報告書を作成し、研修内容について他の職員に報告し、お互いの知識や情報を共有し、職員全体の資質向上に努めました。
- (ウ) 介護保険サービスを利用する際は、法人作成の「新規依頼表」を使用し事業所に偏りが無いよう工夫しました。また、ホームページを配布してお客様のご希望に合わせて事業所を選定していただきました。

## (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- (ア) 生活支援体制整備事業の推進において、地域包括支援センターの相談から地域特性を導き出し、生活支援コーディネーターと連携して協議体を開催し、地域の方と共に情報を共有し、生活課題の解決策を検討しました。
- (イ) 新栄地域ケアプラザ周辺の子育て関係機関や支援者とネットワークを構築し、それぞれの活動をまとめ、継続して子育てカレンダー等を地域に発信しました。

## (6) 区行政との協働

- (ア) 第3期地域福祉保健計画の地区別計画を推進するため、支えあい連絡会や「おもしろいネットワーク」の場でテーマに合わせた活動を推進しました。
- (イ) 子育て支援連絡会を地域ケアプラザ独自で開催し、地域特性の把握や支援の課題を解決する取り組みを検討していき、子育て支援を充実しました。
- (ウ) 「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」に積極的に関わり、民生委員と連携し、訪問や地域活動に参加しました。また、ケアマネジャーと民生委員との情報交換会を行い、日頃から連携を深めるよう心がけました。
- (エ) シニア★スター養成講座を区役所、区社会福祉協議会、ケアプラザと合同で開催し、受講者を推薦し、講座終了後、受講者が地域活動推進のための取組を後方支援しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- (ア) シニア男性のセカンドライフの楽しみ方講座を継続して実施しました。シニア男性 9 名が参加し、考え方や楽しみ方、地域や同世代の活躍を学べる、セカンドライフ支援を行いました。講座終了後、自主化支援をし、「仲町台クラブ 17」という男性セカンドライフ団体が立ち上がりました。3 期生も、1 期生と 2 期生に合流し、30 年度に開催出来るよう、今までの全受講生が講座の企画を検討しています。
- (イ) 「新栄みんなの食堂」を夏に開催しました。地域の子どもと高齢者の交流を目的とし、子どもたちのコミュニケーション能力が育ちにくい環境の中、高齢者や地域の方々と「昔遊び」「食事」を通して異世代交流を行いました。近隣の子ども等 47 名が参加しました。デイサービスを利用する要支援者のお客様がコマ作りの講師になり、主任児童委員が折り紙やヨーヨーを教え、「勝田団地 ゆうあい昼食会」ボランティア 7 名がカレーを作り、全員で一同に食事を行うことで地域の顔の見える関係づくりとなりました。
- (ウ) 貸室団体との共催事業をはじめ、地域の人材や団体を活用し、65 歳以上の高齢者 25 名程が集まる自主事業「憩いのひろば」で、「神奈川県消費生活専門相談員」「勝田盆踊りの会」「MGCRS 地区プチおしゃれ教室」「MGCRS 地区大正琴」「㈱ファンケル化粧品」「横浜市住宅リフォーム促進協議会」「アロハウエーブ都筑」「県立元石川高校」といった、多種多様な団体と協力した事業を開催しました。  
3 月には茅ヶ崎小学校の絵日記展示会を行いました。てつなぎつづきとも連携し、作業所販売の継続や、施設内の夏の植栽管理、余暇支援事業の協力など、地域との顔の見える関係性の構築と、作業所のご利用者のやりがいとなりました。
- (エ) 昨年度の学齢障害児余暇支援事業「せせらぎフレンズ」でのニーズのあった外出支援の希望に応え、今年度は夏休みにヨコハマ水族館、横浜中華街へ電車でボランティアとともに、外出支援を行いました。春休みは三菱みなとみらい技術館の見学と、商業施設内での昼食、桜木町の桜の見学を行い、他の障害児余暇支援と差別化を図り、参加者とボランティアが一体となった活動を行いました。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(ア) 貸室団体の「親子であそぼ」と共催で、毎年恒例の「親子deリトミック」を開催し、参加者同士で新たに交流の輪が広がるきっかけづくりとなりました。

貸室団体の「聴覚障がい者を守る会」と共催で、手打ちそば体験&交流会を開催、貸室団体の「ホラデラつづき」と共催で、薬膳料理教室を開催しました。事業を一緒に行うことで、貸室団体が主体的に実施できるように、活躍の場を提供することが出来ました。

(イ) 「新栄地域ケアプラザ祭り」15周年を記念して、ステージ発表会・作品展示会を行い、貸室団体の発表の場の提供を行いました。

30を越える地域や団体、関係機関と連携するだけでなく、個人参加のボランティアが30名以上活躍しました。地域内の「勝田お囃子連中」の踊りや、早渕中学の吹奏楽部の演奏、勝田保育園と茅ヶ崎南保育園の園児の絵画展も行い、地域連携が図られました。

広報紙は2か月に一度1,500部、地域へ配布しました。特に、ボランティア募集のページも掲載しました。また別途に、ボランティア募集一覧のチラシも作成し、来館者にわかりやすく具体的に案内を行い、ボランティアの発掘に力を入れました。その結果、個人10名と4団体が新たに登録しました。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

(ア) 新たな地域の担い手発掘を目的に、毎年恒例の「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を開催しました。当ケアプラザの登録ボランティアを対象とした交流会では「ボランティア嬉しかったことと、気になること」をテーマにグループワークを行い、意欲的な意見が多く出たり、普段職員に言えない思いを聞け、改めてボランティアのあり方を考える機会となりました。

(イ) セカンドライフ講座から自主化した、1期生「男楽々会」、2期生「仲町台クラブ17」に、地域ケアプラザのお祭りでボランティアとして活躍できる場を提供しました。また、区内の他の「男性セカンドライフ講座」で、先輩としての活動発表を行いました。3回目の講座開催にあたり、講座内容を一緒に考え、各回でボランティアとして協力していただきました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(ア) 地域アセスメントシートを活用し、新しい情報に更新しました。数的データ以外にも、各職種ごとに考察を入れ、課題の把握や取組を行うことに結びました。

また、地区別に地域支援記録にその都度記録を残して、地域活動等への参加に間が空かないようにし、六職種の誰が見てもわかるように情報の共有を行いました。

(イ) 今年度から、窓口と2階の2か所に貸室利用者団体の一覧表を掲示しました。その結果、誰が対応しても、来館者へ貸室団体の情報提供がスムーズにご案内が出来るようになりました。

(ウ) 情報発信のツールである広報紙 1,500部を2か月に一度配布することで、より先に開催される情報を伝えられるようになりました。また、日頃から協関係があることで、勝田茅ヶ崎地区社協の広報紙や勝田小学校の広報紙にケアプラザが紹介され広報範囲の拡充ができました。

ホームページは、事業や貸室状況をタイムリーに更新を行うことで、若い世代にホームページを見て頂けるようになり、子育てサロンの各会場に、新規の親子が各会場で毎月1組以上が参加されるようになりました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

(ア) 六職種会議において、法人オリジナル地域アセスメントシート等を用いて地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターごとの考察をまとめ、連合町内会や単一町内会ごとの支援策を検討し、新たな事業実施に繋げることができました。

(イ) シニア☆スター養成講座に3名受講していただき、「勝田団地」の健康体や「ファミリーハイツ」のカフェ等の高齢者人口の多いエリアで地域活動の立ち上げを支援しました。

(ウ) 勝田団地協議体「思いやりネットワーク」の開催から、全世帯向けアンケート調査を実施し、その結果買い物支援ニーズが高いことがわかり、買い物ボランティアの立ち上げに至る地域主体の支援策の流れの実践事例をコーディネーター連絡会等で発信しました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

(ア) 法人オリジナルの地域アセスメントシートや区版地域アセスメントシート、地域マップ（介護保険サービス利用状況）、インフォーマルサービスリスト、町別年齢別人口表を年度更新しました。

(イ) 毎月参加する会合等で知り得た情報は、シートにまとめ六職種で共有しました。

(ウ) 平成29年6月にかちだ団地の全世帯対象のアンケートを実施し、生活課題の把握と担い手の発掘をねらいとし、具体的な地域支援の取り組みに繋げることができました。

### (3) 連携・協議の場

- (ア) 各連合町内会で開催する自治会や地区社協等のネットワークの場に参加し、地域の実情や人材を把握しました。全地域で災害時要援護者支援事業を行っており、要援護者支援に対する地域のボランティア育成や協議体の開催等の事業提案を行いました。
- (イ) 新栄早淵地区は、支えあい連絡会の時間内で協議体を開催し、地域活動の共有や災害ボランティアの活用、高齢者の居場所づくりを協議しました。勝田茅ヶ崎は、支えあい連絡会や地域のつどいの場で協議体を開催しました。勝田地区は、前年度から継続し、協議体を開催していました。さらに、全世帯向けアンケートを実施し、潜在化する生活課題を把握し、住民主体の地域活動と担い手育成の仕組みを創生することができました。
- (ウ) 新栄早淵地区は、平均年齢が38歳と若く、地域特性を活かして異世代交流を目的とした「みんなの食堂」を開催しました。その際、新栄早淵地区社会福祉協議会等に事業を提案しました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- (ア) 29年度に自主事業「TAKE10」を開催し、都筑区内食事を提供している地域活動、サークル主催者に参加してもらい、食生活や運動の大切さを学び、活動の悩みの共有や情報交換することができました。
- (イ) 地域活動にできる限り参加し、それぞれの取組の中での参加条件や送迎有無等を把握した内容を都筑区インフォーマルサービスリストや「AYAMU」に追記して地域の方やケアマネジャーに情報提供しました。
- (ウ) 郵便局員を対象とした「認知症サポーター養成講座」に他のケアプラザとともに開催しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### 総合相談支援業務

#### (1) 地域におけるネットワークの構築

- (ア) 地域の会合・事業・行事（昼食会・サロン・定例会）に定期的に参加しました。そこで出た課題を会議で共有し、解決に向けて取り組みました。
- (イ) 地域ケア会議を個別ケース1回、包括レベル（かちだ団地）1回、年2回実施しました。若年性認知症の個別ケースから地域での見守りの課題を共有して住民向けに認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解と対応について普及啓発をしました。  
また、生活支援コーディネーターと協働してかちだ団地の買い物等の生活課題を共有し、住民からボランティアを募り今後の活動に向けた話し合いができました。

(2) 実態把握

- (ア) 相談を通じて把握したケースについては、必要に応じて継続的に家庭訪問等を実施、高齢者の心身の状況や生活環境の把握に努めました。
- (イ) 相談から地域課題を抽出し、地域ケア会議を実施しました。
- (ウ) 「おもいやりネットワーク」と連携し、アンケートを全戸配布、住民の実態把握を行いました。

③総合相談支援

- (ア) 地域の身近な相談窓口として、高齢者に限らず、障がい者や子ども、複数の問題を抱える家族などの相談にも応じ、支援しました。内容については、包括内で随時回覧し情報共有に努めました。必要に応じ相談者宅等へ訪問を行い、民生委員やケアマネジャー等支援者との同行訪問を行いました。
- (イ) 出張講座ではケアプラザ広報紙『せせらぎ便』や、事業のちらしなどを活用し総合相談窓口の周知と事業の広報活動を行いました。

権利擁護

(1) 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- (ア) 成年後見制度の申し立てに関わる相談において、必要な情報の提供及び関係機関（区役所・弁護士・司法書士・法テラス等）との連携を行いました。
- (イ) 行政書士による無料相談会を開催し、成年後見制度等の普及・啓発を行いました。
- (ウ) 弁護士による無料相談会を開催し、より専門的な立場から権利擁護や相続・遺言等の相談を受ける窓口を設けました。
- (エ) 税理士による「成年後見制度と相続」講座と相談会を開催し、成年後見制度等の普及・啓発を行いました。
- (オ) 地域住民へ精神障がい者への理解を深めることを目的に、精神障がいの関連施設と連携しながら啓発事業を行いました。
- (カ) 一人ひとりが自身の権利を守り人生を締めくくりの準備ができるよう、終活の普及・啓発を行いました。

(2) 高齢者虐待への対応

- (ア) 区役所・地域の福祉保健関係者と連携し、対象者となりうる方の把握及び早期発見・対応に努めました。
- (イ) 介護疲れや、悩みを抱える介護者家族のためのつどいを開催し、高齢者虐待の未然防止に努めました。(年10回)

(3) 認知症

- (ア) エリア内のグループホーム 6 か所の運営推進会議に定例で参加し、地域情報や入居者に対する相談等について区役所や関係機関と共有しました。
- (イ) 徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の周知活動を行い、必要な人が登録できるように努めました。
- (ウ) 勝田町老人会・茅ヶ崎中央にある「みんなのキッチン」・かちだ団地にて「認知症サポーター養成講座」を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 地域住民、関係機関等との連携推進支援

(実施内容)

- (ア) 地域の支え合い連絡会や地域懇談会などに参加、また民生委員児童委員・老人クラブ・保健活動推進員との情報交換や勉強会の機会を持ち、地域情報の把握に努めました。  
エリア内の高齢者グループホーム 6 か所、小規模多機能型居宅介護事業所 2 か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1 か所の運営推進会議に定例で参加し、運営状況の把握、地域の情報提供や入居者に対する相談から課題について共有して区役所や関係機関との連携を図りました。
- (イ) 民生委員と地域のケアマネジャーとの交流の場を設け、相互理解、情報共有を行い、連携が取れるような関係作りに努めました。

(2) 医療・介護の連携推進支援

- (ア) 「ケアネットつづき」のケアマネ部会の窓口担当として区内地域包括支援センター主マネで情報共有しながら、協働して定例会や研修会の開催等を支援、都筑区医師会地域多職種連携協議会の研修や市民向け講演会の開催に協力しました。
- (イ) ケアプラザ協力医を交えた情報交換会「しんちゃんの輪」を年間 3 回開催しました。ケアマネジャー、薬局薬剤師、作業療法士、理学療法士、栄養士、言語聴覚士、福祉用具相談員、訪問看護、訪問介護等のサービス提供者などの医療と介護の多職種が現状と課題を話し合い、相互理解を深めネットワークが構築できました。



### (3) ケアマネジャー支援

- (ア) 東山田地域包括支援センターと共催で2か月に1回(全6回)ケアマネジャーに向けた情報提供や共有をしました。地域包括ケアシステム構築の推進に向けインフォーマルに視点を向けた内容を実施しました。  
(小規模多機能型居宅介護事業所の見学、認知症カフェ4か所の紹介・交流会、生活あんしんサポート事業所3か所との意見交換会、地域の御用聞き・便利屋との交流会、民生委員との交流会、虐待防止についての研修)
- (イ) ケアプラザ協力医との意見交換ができる場を作りケアマネジャー、医療関係者とのつながりを支援し医療と介護の連携を図りました。  
ケアネットつづきケアマネ部会と共催で、事例検討会などの研修会の開催支援をしました。
- (ウ) 区内地域包括支援センター共催で「主任ケアマネジャー連絡会」と協働して、新任・就労予定ケアマネジャーに対して3回研修を開催しました。必要な知識の習得や自立支援を目指したケアプラン作成に向けての支援をしました。
- (エ) 区内の「主任ケアマネジャー連絡会」の開催を支援し、区内ケアマネジャー全体の資質向上を行うために、主任ケアマネジャーを対象に「コーチング研修」を開催しました。人材育成、地域の資源の共有や足りない資源の開発に向けて取り組みを勧めました。
- (オ) 個々のケアマネジャーの相談支援に対応できるよう個別ケースの支援についての相談援助や随時地域の資源等の情報提供をしました。
- (カ) 生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと協働でケアマネジャーとの交流会を開催して相互理解と地域の課題を共有しました。  
また、協働で「インフォーマルリスト」、配食サービス一覧を更新し、ケアマネジャーへ地域の最新の情報を発信しケアプラン立案にも活用できるよう整理しました。
- (キ) ケースに応じて、ケアプラン作成の支援、制度についての勉強会、支援困難ケースの同行訪問、サービス担当者会議の開催支援、緊急時への支援・助言・対応、区役所や多職種関係機関との連携を支援しました。

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (ア) 地域ケア会議を活用して医療、介護等関係機関の多職種が協働して高齢者の個別課題、地域の課題への解決のため取り組みました。
- (イ) 地域アセスメントを基に生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター、地域包括支援センターの六職種で連携して地域の課題を共有しながら地域資源の開発、整備、担い手探しに取り組みを進めました。
- (ウ) 個別レベルの地域ケア会議にて「認知症の方への支援について」地域住民が認知症の方への気づきや対応をどこまでできるのかの課題を共有しました。その結果、住民への認知症の理解や対応について自治会、老人会や会議等の出張講座を開催して普及、啓発の取り組みをしました。

- (エ) 包括レベルの地域ケア会議にて「買い物困難等の日常生活課題の担い手不足」の課題から日常生活課題の現状と新たな課題の抽出、整理、担い手の発掘を目的に団地住民向けアンケートを実施しました。その結果から団地住民からボランティア募集、今後のボランティア活動に向け「思いやりネットワーク」とケアプラザ六職種で協働し今後も取り組みます。

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）
- (ア) 委託を行う場合は可能な限りサービス担当者会議に参加し、プラン内容の確認をしました。また、日頃からケアマネジャーとの連携を行い適切なケアマネジメントができるよう助言しました。
- (イ) インフォーマルリストを活用し、ケアプランに組みこんでいけるようにケアマネジャーに助言・指導をしました。
- (ウ) 区内地域包括支援センターと協力し、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務に関する研修会を行いました。

## 5 一般介護予防事業

- (6) 一般介護予防事業
- (ア) 介護予防教室（ロコモ予防・口腔機能向上・栄養改善・認知症予防）をグランクレールセンター南にて実施し、元気づくりステーション立ち上げの支援をしました。
- (イ) 担当エリア内で活動する介護予防グループの担い手のスキルアップを目的としてコグニサイズ勉強会を1回実施しました。また、一般高齢者向けにもコグニサイズの普及啓発を3回実施しました。
- (ウ) 勝田町老人会のサロンや MGCRS 地区にて介護予防（ロコモ予防・口腔機能向上・栄養改善・認知症予防）の普及啓発を行いました。
- (エ) 29年度、立ち上がる予定のコンフォールセンター南集会所を起点とした「元気づくりステーション」の後方支援を行いました。

## 6 その他

- (7) かちだ団地「思いやりネットワーク」事業支援
- (ア) 事務局の一員として、区役所高齢・障害支援課、区社会福祉協議会等と連携しながら引き続き支援しました。
- (イ) 事務局会議（年4回）、定例会（年2回）・棟長会議での「おもいやりネットワーク」活動の説明（5月）・サロンひだまり（通年）・ラジオ体操（通年）・災害時安否確認訓練（6月・11月）など年間通じて活動が継続できるよう支援しました。
- (ウ) 6月に勝田団地の生活課題の把握と担い手発掘をねらいとした全世帯対象のアンケートを実施しました。ボランティア組織の立ち上げ等の取り組みに繋げていきました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

## 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

- (ア) ケアプラザは高齢者、障がい児・者、乳幼児等、心身の状態が弱い方も含めて、地域の様々な方が利用されます。そのため安全確保を最優先するとともに、常に「地域の皆様が快適に安心して利用できるよう施設・設備の安全と清潔を確保する」ことに最善の注意を払いました。
- (イ) 地域の皆様に快適・安全に利用していただけるような施設・設備の保守管理に努めてました。なお、定期点検は専門業者へ委託しています。
- (ウ) 特定業務従事者雇用として2名が従事し、館内清掃と当施設の空きスペースの植栽や花壇等の管理を担いました。樹木の剪定は年に1回程度、専門業者に依頼します。地域作業所に委託して季節に合わせた花木を維持していくことにより、緑化の推進に努めました。
- (エ) 貸室の日常清掃については、使用後に利用団体が清掃を行い、その後の点検を職員が行いました。また、貸室を含め所内を委託業者が毎日清掃し、その後職員が目視し作業終了報告書の内容を確認しました。合わせて、毎月専門業者が全館の定期清掃を行っています。

### (2) 効率的な運営への取組について

- (ア) 労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務処理を効率的に行いました。
- (イ) 不要な照明をこまめに消し、職員が長時間の離席する際にはパソコンの電源をオフにすることを徹底しました。空調を環境省の適正温度に設定するなど無駄を省くように努めました。また、太陽光発電により、電気の省エネ化にも努めました。

### (3) 苦情受付体制について

- (ア) 法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。
- (イ) お客様が苦情やご意見を述べやすいように、ご意見ダイヤルの利用方法と指定管理者名及び指定期間を併せて掲示し情報提供しました。また、2階通路にご意見箱を設置し、対応結果は受付ロビーに掲示しご利用者に周知しました。
- (ウ) 法人では公正・中立の立場から斡旋、調整を行う第三者委員制度を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を行いました。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (ア) 地震、火災等の災害時の備えとして、法人で非常災害・事故・緊急時対応・再発防止マニュアルを作成しており、適時見直し更新しました。
- (イ) 地震・火災等の災害時に速やかに対応できるよう、防災対応マニュアル・消防計画等を策定しました。さらに独自に地震等の大規模災害発生時にサービスを必要とするお客様に可能な限り迅速的確に対応するため、協会全事業所の事業継続計画（BCP）を整備しています。そして職場訓練を実施し、適正な対応に備えました。  
年2回、消防との避難訓練を行うだけでなく、日頃ケアプラザを利用される方や近隣住民の方にも適宜参加していただき、職員が適切な対応をとれるように努めました。職員間で予め役割を取り決め、実際の災害発生時に対応できるよ

う実践的な訓練を行いました。

- (ウ) 急病時には看護師を中心として適切に対応できるように AED を設置しています。定期的に AED の操作方法を含む救命救急研修を実施しました。
- (エ) 地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、福祉避難場所であることを地域に周知するとともに、応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備しました。

#### (5) 事故防止への取組について

- (ア) 介護サービスの提供中に発生したヒヤリハットをデイサービス会議や朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故の防止に努めました。
- (イ) 所内での全体会議などにおいても法人内のサービス向上課から発信される注意喚起を回覧し共有し、法人内の他事業所での事故事例を参考に検討を行いました。事故防止マニュアルの活用など、事故防止に関する研修に組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。
- (ウ) 毎月、産業医出席の下、衛生委員会を開催し、ヒヤリハットの事例検討を実施しました。
- (エ) デイサービス送迎車両にドライブレコーダーを取り付け、万が一事故が起きた際には検証して対策を検討し、安全運転を心がけるようにしました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- (ア) 法人では個人情報保護規程を定めており、ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を決めました。全職員に対し、年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施し、報告書を区役所に提出するほか、法人本部で実施する「個人情報保護・情報セキュリティ研修」を担当職員が受講し、職場で他職員への伝達研修を実施しました。
- (イ) 個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類などは施錠付のロッカーなどで保管し、止むを得ず携帯する必要がある場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを法人指定のカバンに入れて斜め掛けし携帯することを徹底しました。
- (ウ) 書類の封入時のダブルチェックやファックスで送る場合のマスキング、短縮ダイヤルの設定、ダブルチェックなどを徹底するよう全職員に周知徹底しました。
- (エ) 個人情報の含まれる書類が、同時に印刷をかけたパンフレットなどに混入しないように、印刷機に個人がアクセスして必要なものを印刷するようシステムにセキュリティ設定を行いました。
- (オ) 業務用携帯電話端末は、暗証番号でダイヤルロックし、端末を万が一紛失した場合にも保存内容を遠隔操作で消去できるよう契約しました。

(7) 情報公開への取組について

- (ア) 地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開する体制を整えました。
- (イ) ホームページや広報紙を活用して、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

- (ア) 法人において「横浜市福祉サービス協会倫理綱領」を制定し、援助者として持つべき視点や人権意識を、事業所内研修などで適宜確認しました。
- (イ) 法人本部で職員を対象にした外部の講師を招いて人権研修を年に1回、実施しており、研修に参加した職員から所内会議の場で伝達研修を行いました。また、引き続き、高齢者や子ども、障がい者など、幅広い視点で行われる人権研修にも参加をしました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- (ア) 省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用などの資源の有効利用を励行しています。
- (イ) 資源ゴミの徹底した分別収集に協力し、ペットボトルのエコキャップ回収を地域にも呼びかけ、収集したキャップはエコ活動につなげています。横浜市新栄地域ケアプラザ祭り等のイベント開催時には出店した団体毎にゴミを収集し持ち帰りとしています。また、職員においては、昼食のゴミの持ち帰り等、減量化の徹底に努めました。
- (ウ) 毎年、電力消費がピークとなる夏季には軽装（クールビズ）、冬季には暖かい服装（ウォームビズ）での執務を心掛け、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、省エネルギーに努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

ア 職員体制

保健師等 2名（常勤・包括支援センター兼務）  
 社会福祉士 1名（常勤・包括支援センター兼務）  
 主任ケアマネジャー 1名（常勤・包括支援センター兼務）  
 予防プランナー（非常勤） 2名

イ 実施内容

- （ア） 介護予防支援業務（介護予防ケアプランの原案作成等）については、アセスメントに基づき、お客様の意思を尊重し実施しました。業務を委託する場合には、サービスの継続性を保つため、原則として従来からケアプランを作成していたケアマネジャーに委託しました。
- （イ） 事業対象者（要支援・要介護状態になる可能性の高い高齢者）から、要支援まで、総合的・一体的に介護予防マネジメントができるよう検討しました。要支援の認定を受けた方についての介護予防ケアプランの作成は、「できる限り在宅で自立した日常生活を継続できる」ようにケアマネジャーと連携しました。
- （ウ） 介護予防ケアプランの作成が滞ることのないよう、ケアプラザ内で予防プラン作成担当者（予防プランナー）を配置しました。
- （エ） 地域包括支援センターは、介護予防支援の全体を所管することから、公正・中立の立場で各事業所と連携しました。

ウ 実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

通常サービス提供地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合は以下の実費となります。

公共交通機関を利用の場合 交通機関の運賃分

エ その他（特徴的な取組、PR等）

- （ア） 高齢化の進んでいる「かちだ団地」において、高齢者の孤立化を防ぐため「かちだ地区おもいやりネットワーク事業」を支援していきました。支援内容として、「サロンひだまり」の広報や事業支援・災害時安否確認訓練活動への参加を行いました。
- （イ） かちだ団地・勝田茅ヶ崎の地区民生委員児童委員協議会および新栄町・早淵の地区担当民生委員と「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」に関して連携し、情報交換をしました。

オ 利用者契約者

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
241	249	260	260	259	269
10月	11月	12月	1月	2月	3月
267	269	267	254	261	261

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 5名（常勤専従2名 / 常勤兼務1名 / 非常勤兼務2名）

《目標に対する成果等》

ア お客様やご家族の希望を大切に、「住み慣れた地域で安心して生活が継続できる」ように支援しました。

イ 一人暮らし・高齢夫婦世帯・認知症の方の一人暮らし、障害のあるご家族と高齢世帯等、在宅生活の継続が難しいケースが増加しました。プラン作成にあたっては、総合相談窓口しんえいや民生委員児童委員等の地域の方との連携や情報共有を行い、介護保険サービスだけではなく、在宅生活を支える様々な地域活動活用した支援を行うよう心がけました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ア 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問、出張する必要がある場合は以下の実費となります。

公共交通機関を利用の場合	交通機関の運賃分
自動車を使用した場合	ケアプラザより片道 6.5 千円未満は無料、 6.5 千円以上は 10 千円毎に 160 円となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア お客様のご希望や緊急時には、できるだけ迅速な対応を心がけました。

イ 福祉総合相談窓口しんえい・区福祉保健センター、医療、民生委員、地域の方々と連携し、生きがいを持てるような支援を心がけました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
92	91	93	84	89	94
10月	11月	12月	1月	2月	3月
94	91	96	105	107	109

## ● 通所介護

### 《提供するサービス内容》

- (ア) ご自宅でお客様が自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。また、ご家族の介護負担の軽減の点については、お客様の心身の状態に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、アセスメントに応じて機能訓練等を行いました。
- (イ) 事業の実施については、区役所・地域の関係機関（保険・医療・福祉サービス、ボランティア等）との連携を図り、総合的なサービス提供に努めました。

### 《実費負担》

#### ● 1割負担の場合（日）

（要介護1） 704円 （要介護2） 831円 （要介護3） 963円  
（要介護4） 1095円 （要介護5） 1227円

#### ● 加算（日）

● 入浴介助加算 54円

● サービス提供体制強化加算（Ⅱ）7円

● 介護職員処遇改善加算 1ヶ月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金

● 口腔機能向上加算 161円（月2回まで）

● 送迎減算（片道） -51円

● 食費負担 600円

● レクリエーション費 実費

《事業実施日数》 週 6 日 （日曜日を除く）

《提供時間》 9：30 ～ 16：35

### 《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）	生活相談員	3名（常勤兼務）
看護職員	5名（非常勤兼務）	介護職員	20名（非常勤兼務）
機能訓練指導員	5名（非常勤兼務）		
運転手	4名（非常勤）	調理員	5名（非常勤）

### 《目標に対する成果等》

- (ア) お客様の“自立”を目標とした支援を行いました。
- (イ) お客様の要望やニーズに応じていけるよう嗜好調査アンケート調査を行い、食事メニューの充実を行いました。
- (ウ) 通所介護ご利用のお客様の支援、ご家族様の介護負担軽減を目的とした通所介護事業を行いました。
- (エ) サービス提供事業者として、職員に対して定期的な研修を行い、サービスの質的向上を図りました。
- (オ) お客様の口腔機能の向上を目的とした口腔機能向上訓練・口腔ケアを希望者に実施しました。
- (カ) ボランティアの方々との交流を積極的に進めました。
- (キ) デイサービス便り「せきれい」を毎月発行し、お客様のデイサービスでの様子を伝えると共にご家族様に向けて各種イベントやお知らせ・情報提供を積極的に行いました。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (ア) お客様の趣味に応じた個別レクリエーションを充実し、29年度は「福祉パチンコ」を新たに取り入れ、デイサービス利用中の楽しみを提供することができました。
- (イ) お客様の活動性が向上する体操及び季節感のあるレクリエーション・戸外訓練を年間計画に組み入れ実施し、意欲の向上を図りました。（選択性レクリエーション及び機能訓練の充実）



《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
583	629	586	579	578	561
10月	11月	12月	1月	2月	3月
500	510	557	498	499	597

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- (ア) ご自宅でお客様が自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。  
また、ご家族の介護負担の軽減の点については、お客様の心身の状態に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、アセスメントに応じて機能訓練・口腔機能向上等を行いました。
- (イ) 事業の実施については、区役所・地域の関係機関（保険・医療・福祉サービス、ボランティア等）との連携を図り、総合的なサービス提供に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 1766 円（月額） サービス提供体制強化加算（Ⅱ）26円

（要支援2） 3621 円（月額） サービス提供体制強化加算（Ⅱ）51円

● 口腔機能向上加算 161 円（月額）

● 介護職員処遇改善加算 1カ月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。

● 食費負担 700 円

● 連絡帳ケース 263 円

● レクリエーション費 実費

《事業実施日数》 週 6 日（日曜日を除く）

《提供時間》 概ね 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）	生活相談員	3名（常勤兼務）
看護職員	8名（非常勤兼務）	介護職員	18名（非常勤兼務）
機能訓練指導員	8名（非常勤兼務）		
運転手	6名（非常勤）	調理員	5名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- (ア) 総合支援事業（介護予防通所介護）のお客様の支援、ご家族の介護負担軽減を目的とした通所介護事業を行いました。
- (イ) お客様の要望やニーズに応じていけるよう嗜好調査アンケート調査を行い、食事メニューの充実を行いました。
- (ウ) お客様の“自立”を目標とした支援しました。
- (エ) お客様が要介護状態にならないよう体操及び季節感のあるレクリエーション・戸外訓練を年間計画に組み入れ実施し、日常生活動作の維持向上を図りました。（選択性レクリエーション及び機能訓練の充実）
- (オ) サービス提供事業者として、職員に対して定期的な研修を行いました。
- (カ) お客様の口腔機能の向上を目的とした口腔機能向上訓練・口腔ケアを希望者に実施しました。
- (キ) ボランティアの方々との交流を積極的に進めました。
- (ク) デイサービス便り「せきれい」を毎月発行し、お客様のデイサービスでの様子を伝えると共にご家族に向けて各種イベントやお知らせ・情報提供を積極的に進めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (ア) 他の施設で断られた困難ケースの受け入れも、積極的に行いました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13	14	17	18	18	19
10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	19	20	18	19	19

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ア 認知症状があるお客様に対し、自己選択、自己決定を促し、自立した在宅生活を継続できるよう支援しました。
- イ プログラムの中に体操や機能訓練を取り入れることで五感を刺激し、今できていることが維持でき、認知症の進行を防止できるよう支援しました。
- ウ 事業の実施については、区役所・地域の関係機関（保健あ・医療・福祉サービス、ボランティア等）との連携を図り、総合的なサービス提供に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割負担の場合

（要介護1）	1072円	（要介護4）	1422円
（要介護2）	1188円	（要介護5）	1539円
（要介護3）	1305円		

加算（日）

個別機能訓練加算	30円
入浴介助加算	55円
サービス提供体制加算（Ⅱ）	7円
送迎減算（片道）	-52円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の104に相当する料金
食費負担	700円
レクリエーション費	実費

《定員》 12名

《事業実施日数》 週 6 日 （日曜日を除く）

《提供時間》 9：30 ～ 16：35

《職員体制》

管理者	1名（常勤）	生活相談員	3名（常勤兼務）	介護職員（常勤）	1名
看護職員	7名（非常勤兼務）	介護職員	18名（非常勤兼務）		
機能訓練指導員	7名（非常勤兼務）				
運転手	6名（非常勤）	調理員	5名（非常勤）		

《目標に対する成果等》

- （ア）要介護の方を対象にお客様の支援、ご家族様の介護負担軽減を目的とし、個別対応に重点を置いた通所介護を実施しました。
- （イ）年間平均利用人数7/日名を目指しましたが、5名平均となりました。
- （ウ）介護職員は有資格者或いは専門知識を有した職員が担当しました。
- （エ）お客様の“自立・安定”を目標とした支援を行いました。
- （オ）食事メニューの充実を行いました。
- （カ）お客様の活動性の向上・精神的な安定が図れるよう、機能訓練及び季節感のあるレクリエーションを年間計画に組み入れ実施しました。
- （キ）サービス提供事業者として職員に対して定期的な研修を行い、サービスの質的向上を図りました。
- （ク）ボランティアとの関わりを持ちながら、コミュニケーションの充実を保つことができました。
- （ケ）デイサービス便り「せせらぎ」を毎月発行し、お客様のデイサービスでの様子を伝えると共にご家族に向けて各種イベントやお知らせ・情報提供を積極的に行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
75	85	97	128	120	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
122	127	126	121	120	133

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新栄地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者家族のつどい	<p>目的：介護者についての不安や、情報提供などを気軽にはなしあえる場の提供。ストレスを軽減できる場作りを行います。</p> <p>内容：茶話会形式で互いの思いや、疑問を話せる場をつくり、情報交換ができました。</p>	年10回(8・1月休み)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士の無料相談会	<p>目的：相続や成年後見制度等の権利擁護に関する個別相談会を行うことで、早目の対策が取れるように支援していきます。</p> <p>内容：1人40分の事前予約制。行政書士との個別相談会を開催しました。包括は受付時に主訴のみ確認しました。</p>	6月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
税理士の講座&無料相談会	<p>目的：地域住民に地域ケアプラザが身近な相談窓口として知って頂く。講師に税理士を選定することで、より個別ニーズに合わせた相談ができるようにします。</p> <p>内容：成年後見制度や相続についての講座と個別相談会を開催しました。</p>	10月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
弁護士の無料相談会	<p>目的：相続や成年後見制度等の権利擁護に関する個別相談会を行うことで、早目の対策が取れるように支援していきます。</p> <p>内容：1人40分の事前予約制。弁護士との個別相談会を開催しました。包括は受付時に主訴のみ確認しました。</p>	9月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
精神保健福祉講座	<p>目的：地域住民や、心の病を抱えた方の当事者家族に対して精神の病気や精神障害に対する認識や理解を深めます。また、心の病に関する相談支援機関である都筑区生活支援センター「こころ野」の役割を周知します。</p> <p>内容：テーマを「高次脳機能障害について」と題し、クラブハウスすてっぶなの作業療法士・自立生活アシスタントに依頼し、講演を行いました。</p>	11月 年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
呼び寄せの為の基礎知識①②	<p>目的：呼び寄せ世帯向けに老人ホーム選びの支援をすることで、高齢者が自分らしい終の棲家を見つけられるようになる。地域ケアプラザが福祉保険の相談窓口であることを周知する。</p> <p>内容： 第一回目…講座「老人ホームの種類と選び方」 第二回目…「老人ホーム見学会」（有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅） 講師及び見学会コーディネーターは神奈川ロイヤル入居相談室に依頼して行いました。</p>	12月・3月 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生活困窮者自立支援制度について	<p>目的：生活困窮に悩む方やその支援者が、制度を知ることによって解決の糸口を見つけ、生活保護利用に至る前に暮らしの建て直しができるようになる。</p> <p>内容：都筑区生活支援課 主任自立相談支援員に講師を依頼し、実際の事例を交えながら制度の説明を行って頂きました。</p>	2月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
MGCRS「いきいき元気講座」	<p>目的：ケアプラザから遠いMGCRS茅ヶ崎南地区の高齢者に介護予防の知識と実技を学ぶ機会を作ります。</p> <p>内容：体力測定とロコモ予防、フットケアとコグニサイズなどの介護予防講座を行いました。</p>	10月・11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
唄って元気♪音楽を楽しむ講座	<p>目的：音楽セラピストによる音楽回想療法を取り入れ、認知機能の維持・向上と口腔機能の維持向上を目指します。</p> <p>内容：口腔体操・みんなで唄う・音楽回想療法・ブネ楽器の演奏を行いました。</p>	7月から毎月1回 全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズ勉強会	<p>目的：ロコモ予防と認知症予防のコグニサイズを自宅で一人でも、またサロンなどの地域でも実施できることを目指します。</p> <p>内容：ハマトレストレッチを実施後、コグニサイズ教本をもとにひとりでもできるコグニサイズとみんなでできるコグニサイズを実施。3回目は横浜YMCA講師による指導を受けました。</p>	6月2回 1月1回 回 全3回

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域リーダーのためのコグニサイズ勉強会	目的：元気づくりステーションやサロンなどの担い手の方にコグニサイズを勉強する機会を作ります。 内容：横浜YMCAの講師によるコグニサイズの指導を行いました。	10月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア世代の学びの場	目的：ケアプラザから遠い会場（茅ヶ崎中央）にて介護予防の基礎知識を学ぶ機会を作る。 内容：毎回ハマトレを実施。呼吸法・口腔ケア・栄養指導・唄などの介護予防教室を実施しました。	10月～ 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア世代の学びの場Ⅱ	目的：「シニア世代の学びの場」のグループ活動を支援し、元気づくりステーションの立ち上げ支援をする。 内容：ハマトレを中心にフットケア・ヨガ・脳トレ・唄等の介護予防を実施しました。	11月～全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー情報交換会	目的：ケアマネジャーの資質向上、ケアマネジャー同士の情報交換、多職種との連携、地域資源（インフォーマル）への視点を共有します。 内容：エリア内の新設の小規模多機能型居宅介護の見学会、インフォーマル団体、生活あんしんサポート事業の事業者との意見交換会、エリア内認知症カフェの周知と交流会、民生委員との交流会を開催しました。また虐待防止について講座を開催しました。	2カ月に1回 (全6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しんちゃんの輪	目的：プラザ協力医と地域のケアマネジャー、医療関係者、介護保険事業者など医療と介護のネットワークの構築します。 内容：多職種が一同に集まり顔の見える関係作り、連携方法を共有できるような交流会を開催しました。	年間3回



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	<p>目的：ケアマネジャーの資質向上、支援困難ケースの共有し課題解決を共に考えます。ケアマネジャー同士の仲間作りの場の提供をします。</p> <p>内容：少人数で集まり、自立支援に資するケアマネジメント、関係機関との連携方法、地域の社会資源などの情報提供、制度の理解等のためにの勉強会を行いました。</p>	年間2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
憩いのひろば	<p>目的： ①高齢者の交流の場の提供（外出目的、閉じこもり予防）をします。 ②ボランティア活動の場の提供をします。 ③介護予防の情報提供や実技などの実施します。</p> <p>内容： ①介護予防の情報提供や実技などの実施しました。 ②毎回5人の個人ボランティアが活躍し、貸室団体との共催事業をはじめ、地域の人材や団体を活用し、多種多様な団体と協力した事業を開催しました。 ③介護予防を随時取り入れ、毎月違ったレクリエーション（脳トレ・唄・絵手紙等）の実施しました。</p>	毎月 第2・4木曜日 全22回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
レコードカフェ	<p>目的：シニアを参加対象とし、閉じこもり予防や外出支援を目的に仲間づくり・生きがいをづくりの提供を行います。長年培ってきた豊かな経験や技能、知識を生かして活動していき、特に「団塊の世代」を始めとするシニア男性の地域での居場所づくり・活躍のきっかけづくりとなる“地域デビュー”を支援します。</p> <p>内容：レコードをかけるボランティアが進行し、コーヒー等のドリンクはボランティアが行います。2時間たっぷりレコードを聴きながら参加者同士で交流しました。</p>	毎月 第4火曜日 全12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>目的：ケアプラザごとに活動している多くのボランティアが参加し、情報交換を交わすことで、広い視野をもって活動時の悩みの共有や問題解決が可能になります。今回企画している感謝会では、活動している多くのボランティアの横のつながりを持ち、情報交換を交わすことで、広い視野をもって活動時の悩みの共有や問題解決が可能になります。</p> <p>内容： ① あいさつ ② 自己紹介 ボランティア活動の報告 ③ グループワーク ④ 情報交換</p>	29年7月26日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のセカンドライフ楽しみ方講座	<p>目的：65歳以上～団塊世代の方を対象に様々な趣味や料理を通じて仲間意識を高められ、団塊世代やシニア世代の地域回帰と社会貢献へとつなげることを目的としています。シニア世代の方が人生を楽しみながら人と人をつなげていける地域の人材を発掘します。</p> <p>内容：27、28年度の参加メンバーが主体となり、シニア男性向けの講座を開催しました。仲町台地区センターとの連帯事業で、全6回の連続講座。スポーツボイスや健康体操、カレー店見学、カクテル講座等を行いました。</p>	29年1月～3月 全6回開催

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新栄早瀬夕涼みのつどい	<p>目的： ①ケアプラザの広報宣伝活動です。 ②地域の方との交流を図ります。</p> <p>内容：ケアプラザ事業の宣伝活動と、地域の方々の交流をするために光物のおもちゃを販売し、広報紙の配布と地域のおすすめ場所をアンケートを行いました。</p>	29年7月16日 年1回開催
茅ヶ崎南MGCRS 夕涼みの会	<p>目的： ①ケアプラザの広報宣伝活動です。 ②地域の方との交流を図ります。</p> <p>内容：ケアプラザ事業の宣伝活動と地域の方々の交流を目的に、子ども用のおもちゃ、ヨーヨー釣りを販売し、広報紙の配布を行いました。また、MGCRS地区保健活動推進員と共催で健康チェックを行いました。</p>	29年8月26日 年1回開催
茅ヶ崎南MGCRS 合同防災訓練	<p>目的：茅ヶ崎南MGCRS連合自治会で行われる、「MGCRS合同防災訓練」にケアプラザが参加することで、地域住民と顔の見える関係づくりや地域活動者と連携し、連帯性を構築します。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき、自主事業の参加や包括の相談につなげます。</p> <p>内容：メゾン集会所の入り口にて、新栄地域ケアプラザのブースを出しました。地域の活動についての認知度、参加率のアンケート調査を行いました。法人で支給され、入れ替えを行い今年度中に賞味期限を迎えるアルファー米を、その旨を伝え回答者に配布。1時間程で51人に回答をもらい終了。また、応急処置パネルや、ケアプラザの貸館団体パネル展示も行い、ケアプラザの告知を行いました。地域住民や役員の方々と一緒に、都筑消防署指導の起震車体験や水消火器体験も行いました。</p>	29年6月18日 年1回開催
よこはまシニア ボランティア 受入機関登録研 修会	<p>目的：現在活動しているボランティアで未登録の方のモチベーションの維持向上の機会を提供し、活動の継続や活性化につなげます。また、地域の身近な活動場所で研修会を開催することで、ボランティアが継続して活動しやすい環境を整え、新栄地域ケアプラザのボランティアの充実を図ります。</p> <p>内容：現在活動されていて、ポイントカードを持参していないボランティアやこれから始めたい方が参加し、よこはまシニアボランティア受入機関登録研修会研修会を実施しました。講座の内容は、研修会用の冊子とPPを使用して説明を行いました。認知症講座も行いました。</p>	30年3月30日 年1回開催

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
15周年記念 新栄ステージ発表 会 作品展示会	<p>目的：日頃利用している貸室団体の、発表を希望する全団体の発表機会の提供。貸室団体とのつながりと、福祉保健活動への展開を活性化するため開催。貸室団体の家族や友人など、ケアプラザに馴染みのない方々にも来所してもらい、身近で気軽に相談・活動できる施設であることを広く伝えます。</p> <p>内容：・各出演団体が前後の発表を観覧し、発表団体の友達や関係者も来てもらい、会場収容人数もちょうど良く、落ち着いた雰囲気で開催を行いました。新栄地域ケアプラザ祭りが15回目ということで、祝福の歌や踊りを披露してくれたり、ステージ発表日に合わせてお花を飾ってくれる団体もありました。 ・作品展では例年より長い期間の展示が出来て、一部展示場所を変えたことで、来館者の多くの人の目に触れることとなりました。</p>	29年11月11日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
新栄地域ケア プラザ祭り2017 15周年	<p>目的：地域ケアプラザについての地域理解を深めるとともに、ボランティア団体や障害者団体の発表機会とし、地域と各団体の交流を図る機会とします。また、周辺自治会・町内会にも出店を依頼し、地域内同志の交流・連携の機会の場とします。</p> <p>内容：・エリア内自治会町内会、地域作業所バザー出店、ボランティア団体と連携し、来場者が1,000人以上あり、福祉保健団体と地域をつなぐ場となりました。プログラムは早淵中学校の吹奏楽部に演奏協力や、切り絵コーナー、保活による健康チェックコーナー、ヘルスマイトの栄養講座、作業所販売、保育園による絵画展など近隣施設と繋がりを持つことが出来ました。ステージでは例年通りの早淵中学校による演奏と、都筑区に本拠地を置くプロバスケットチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のチアダンスを行い、多くのお客様が来場しました。</p>	29年11月19日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末おそうじ隊	<p>目的：ケアプラザの貸室利用団体に集まっていただき、一緒に掃除をすることで、交流を図ります。ボランティア活動の場の提供します。</p> <p>内容：ケアプラザの貸室等の清掃。茶話会を行いました。</p>	29年12月13日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
せせらぎフレン ズ2018はる 事前説明会	<p>目的： ① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供します。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図ります。 ③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図ります。 ④ 関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努めます。 ⑤ 本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機械となります。</p> <p>内容：都筑区内在学・在住の小学生～高校生の障がい児を対象に春季休暇期間中の余暇活動支援を実施するにあたり、ボランティア事前研修、事業説明、保護者参加者説明、顔合わせを実施しました。 また、勉強会として区内の福祉作業所「カブカブ川和」の職員による仕事内容の紹介や、コミュニケーションの取り方について説明をしてもらいました。</p>	30年3月27日 年1回開催

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
せせらぎフレンズ2018はる	<p>目的：</p> <p>① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供します。</p> <p>② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図ります。</p> <p>③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図ります。</p> <p>④ 関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努めます。</p> <p>⑤ 本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機械となります。</p> <p>内容：横浜みなとみらい技術館と、商業施設での昼食、みなとみらい近辺の観光を、参加者とボランティアがペアとなって一日過ごしました。</p>	30年3月29日 年1回開催
せせらぎフレンズ2017なつ 事前説明会	<p>目的：① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供します。</p> <p>② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図ります。</p> <p>③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図ります。</p> <p>④ 関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努めます。</p> <p>⑤ 本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機械となります。</p> <p>内容：都筑区内在学・在住の小学生～高校生の障がい児を対象に夏季休暇期間中の余暇活動支援を実施するにあたり、ボランティア事前研修、事業説明、保護者参加者説明、顔合わせを実施しました。また、勉強会として区内の福祉作業所「うえるぶらんと」の職員による仕事内容の紹介や、コミュニケーションの取り方について説明をしてもらいました。</p>	29年7月22日 1回開催
せせらぎフレンズ2017なつ	<p>目的：① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供します。</p> <p>② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図ります。</p> <p>③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図ります。</p> <p>④ 関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努めます。</p> <p>⑤ 本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機械となります。</p> <p>内容：よこはまおもしろ水族館と中華街へ参加者とボランティアがペアとなって一日過ごしました。</p>	29年8月1日 年1回開催
ポールウォーキング	<p>目的：</p> <p>① 運動不足、ロコモ予防、効率の良い運動を目的とします。</p> <p>② 参加者の同士の交流、地域（早瀬公園や緑道）を歩きながら知ることが出来ます。</p> <p>③ 歩行に不安がある方を含め、介護予防の普及啓発をします。</p> <p>内容：2日間ともに、1時間程のパワーポイントで勉強をし、残りの時間で実際にウォーキングをするという内容。経験者3人、初心者2名だったが、講師が2～3名付いていたため、詳しい内容を直接指導が出来た。参加者同士は初対面だったが、ポールウォーキングを通して、自分たちの地域の話などの会話が多く生まれていました。講師が都筑区ヘルスメイトでもあり、食の話題を講義内で話すと、反応が良かったです。</p>	29年7月3日、10日 2回開催

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子deリトミック	<p>目的：0歳から6歳以下の未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。貸館利用団体「親子であそぼ」との連携事業として実施し、地域の身近な場所で、親子の日常的なスキンシップの場づくりを目的とします。</p> <p>内容：貸館利用団体「親子であそぼ」の貸室団体とリトミックを開催しました。</p>	29年4月26日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬膳料理教室	<p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①シニア世代中心の参加対象とし、閉じこもり予防や外出支援を目的に仲間づくり・生きがいつくりの提供を行います。</li> <li>②食事を作る工程で、講師や受講者と健康づくりのおしゃべりをしたりすることで、閉じこもり予防や外出支援を目的に仲間づくり・生きがいつくりの提供が行えます。地域での居場所づくり・活躍のきっかけづくりとなる地域デビューを支援します。</li> <li>③料理が出来上がる達成感や調理への自信を感じてもらい、自宅でも健康に気を使った調理や食生活になるよう支援します。</li> </ol> <p>内容：貸室団体ホラデラ都筑と共催事業。寒い季節の薬膳料理教室として、健康についての講義と調理実習を行いました。メニューは鱈の炒め煮、大豆ご飯等。健康促進を支援しました。</p>	30年1月18日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンタクロース講座	<p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①外出支援を目的に仲間づくり・生きがいつくりの提供が行えます。地域での居場所づくり・活躍のきっかけづくりとなる地域デビューを支援します。</li> <li>②地域とのつながりを築きます。仲町台地区センターと共催で行うことで、ケアプラザの最寄駅である仲町台駅近辺とも交流活動を持ちます。</li> <li>③日曜日開催であり、多くの家族に参加告知が出来、多くの方との交流が期待できます。</li> </ol> <p>内容：午前サンタについての講義を開催し（サンタの衣装着用）、午後サンタのパフォーマンス講義を行い、（バルーンアート、手品等）その後、サンタクロースの衣装のまま、新栄CPから仲町台駅周辺を行進しました。</p>	29年12月3日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと赤ちゃんの健康講座	<p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①2か月を過ぎたころの赤ちゃんとその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。</li> <li>②福祉保健センターと連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図ります。</li> <li>③親子同士も交流し、今後においても地域活動へ参加するきっかけとなる場、地域福祉に関心を持つきっかけとなる場にします。</li> </ol> <p>内容：2日で1コースで、1日目は食生活のお話と離乳食の試食を行いました。2日目は赤ちゃんと一緒に楽しく運動を行いました。</p>	29年9月22・29日 30年3月23日・28日 全4回開催

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜子育てサポートシステム出張入会説明会	<p>目的：・子どもを預かってほしい人と、預かれる人が会員登録し、地域ぐるみで子育て支援を行います。都筑区子育て支援センターポポラと連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図ります。</p> <p>内容：子育てを手伝いたい提供会員（有償ボランティア）になりたい方が2名と、子どもを預けたい利用会員希望が1名が参加。初めに、新栄地域ケアプラザについて説明を行い、その中の子育て事業一覧を配布し説明。その後、ポポラより子育てサポートの説明を行いました。</p>	29年11月28日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
環境絵日記展	<p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 小学生とその養育者、家族などに地域ケアプラザを知ってもらうきっかけ作り</li> <li>② 市や関連団体、企業等との連携した事業を行うことで、地域の活性化を図る</li> <li>③ 環境問題に関心を持ってもらうきっかけ作り</li> </ol> <p>内容：当法人専門職会議の企業連携グループ「法人のスキルメリットを活かした事業」として、法人内11ヶ所のケアプラザで初めて実施。 3月12日から2階の多目的ホール前に、茅ヶ崎小学校1、2年生の6点を展示。 貸室利用者、自主事業参加者等に見てもらいました。</p>	30年3月12日（月） から3月31日（土） の20日間開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジャズバンドショー	<p>目的：・シニア世代を参加対象とし、閉じこもり予防や外出支援を目的に行います。この事業に参加することで施設を始めて利用する方に地域ケアプラザ機能理解を得られるようにします。また、ボランティア団体ハッピーじゃむの長年培ってきた豊かな経験や技能、知識を生かした福祉保健活動を推進します。・ハッピーじゃむメンバーの高年齢化も進み、冬の間、活動が出来ていなかった演奏メンバーの活性とします。</p> <p>内容：参加者44名と盛況であり、部屋のイスの間隔もちょうど良いバランスであった。申込み定員がいっぱいとなりました。参加者も手拍子や体を揺らして、脳や自律神経に作用している様子がありました。つくしんぼサロンの参加の親子（1歳）も参加し、子どもも泣くことなく楽しんでいました。</p>	30年2月28日 年1回開催
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室利用団体交流会	<p>目的：日頃から横浜市新栄地域ケアプラザの貸室を利用している方に、地域ケアプラザの貸室ルールや意見交換の場として実施します。今回の交流会をきっかけにニーズの把握や利用団体が福祉保健団体へ結び付けることができるように働きかけます。</p> <p>内容：・今年度は、地域ケアプラザが無料で利用できるのはなぜか、保健福祉活動とは、他の団体活動内容知ることを中心に団体Ⅱを対象とした。参加は重複している方も含め全56団体中18団体19名の参加。最近、団体に新しい方を増やしたくないという団体がいくつかみられ、地域の参加者の受入れについての話を行いました。4月からのボランティア募集情報を発信した。参加者に所属の団体のアピールを記入してもらい、写真とともに掲示する旨を伝えました。</p>	30年3月30日 年1回開催

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手打ちそば体験交流会	<p>目的：聴覚障害のある方同士や障害について学ぼうとしている方々の交流の場として、情報交換や相互理解を深めます。手打ちそば体験を通し、自然に地域の方とコミュニケーションが取れる場、地域に開かれた場を提供し、聴覚障害福祉への普及啓発とします。</p> <p>内容：「聴覚障がい者を守る会」をケアプラザは後方支援として関わりました。藤本氏、麵ずくらぶ岩崎氏、ケアプラザより挨拶。麵ずくらぶが参加者全員の前で実演をし、岩崎氏が説明。その後、4班（1班5名程）に分かれ、各班に麵ずくらぶボランティア講師が1、2名入ってそば打ちを行いました。同じ工程を4、5名で回しながら一人ずつ行い、全員がそば打ちを体験。麵ずくらぶボランティア講師の説明を、参加者同士が手話で伝えあい、途中で困る場面はなかったです。午後からは交流会を行い、手話を使い当日の感想や意見交換を行いました。</p>	29年9月30日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
新栄子育てサロン	<p>目的： ①地域の方に子育ての情報交換や交流の場を作ります。 ②子育てに関するニーズの把握をします。</p> <p>内容：①未就学児向けのサロンで、特に申し込みは必要とせず、出入り自由。 ②部屋いっぱいマットとおもちゃを広げ、親御様と乳幼児同士の交流と情報交換を行いました。 ③お弁当の持参可。見守りとして職員1名とボランティアを部屋に待機しました。 ④貸し室を使っている団体に準備と片付けのボランティアをお願いし一緒にサロンの準備などをしました。</p>	毎月 第4月曜日 全12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
つくしんぼサロン	<p>目的： ①子育て支援の一環として地域の方に子育ての情報交換や交流の場の提供をします。 ②子育てに関するニーズの把握をします。 ③ボランティアの場の提供をします。</p> <p>内容：①0歳児～1歳児向けのサロンです。特に申し込みは必要とせず、出入り自由としました。 ②部屋いっぱいマットとおもちゃを広げ、親御様と乳幼児同士の交流と情報交換を行ないました。</p>	毎月 第1金曜日 全12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
新栄お話し之国	<p>目的： ①子育てに関する情報交換や交流の場の提供をします。 ②子育てに関するニーズの把握 ③ボランティアの場の提供をします。</p> <p>内容：子ども向けの講座を1時間開催しました。前半30分は本の読み聞かせを行い、後半はリトミックや製作を行ないました。</p>	奇数月 第2水曜日 全6回開催

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
茅ヶ崎南子育てサロン	<p>目的： ①地域の方に子育ての情報交換や交流の場を作ります。 ②子育てに関するニーズの把握をします。 ③地区社協と協力し、初の「クリスマス会」を実施します。</p> <p>内容：①参加者同士の交流、地域の子育てボランティアによる保育、情報交換、育児相談などを行ないました。場所はメゾンふじの木台集会所と改修中はガーデンホームズ港北の集会所で行いました。 ②ケアプラザから遠い地域に出張でサロンを開催しました。 ③初めての「クリスマス会」を開催しました。予想参加者を20組程としていましたが、38組参加され、大人40名（母親38、父親2）、子ども42名、の合計82名となりました。（28組が初参加）10時開催前から、集会所前で並んでおり、受付でサンタ帽子を配布し順に受け取り、賑わいました。</p>	毎月 第3金曜日 全11回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
勝田茅ヶ崎わいわい子育てサロン	<p>目的：育児支援を主とする施設やイベントが少ない勝田茅ヶ崎エリアで、未就学児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。勝田茅ヶ崎の主任児童委員、区社協、区子ども家庭支援課と連携し、地域の身近な場所で日常的な交流の場を作り、育児不安の軽減を図り、参加するきっかけとなる場、地域福祉に関心をもつきっかけとなる場となれることを目的とします。</p> <p>内容：勝田茅ヶ崎エリアに住む未就学児とその保護者を対象として、勝田茅ヶ崎の主任児童委員、区子ども家庭支援課、子育て拠点ポポラと連携し、コンフォールセンター南集会所で子育てサロンを開催しました。地域ケアプラザからは、大型遊具を持参しました。</p>	毎月 第3水曜日 全11回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーヨガ&ママヨガ	<p>目的：ヨガを行うことで心身ともリラックスし、育児ストレスの緩和と赤ちゃんとのスキンシップでつながりを深めます。産後のママにとって無理のない動きで身体を動かす、妊娠や出産で生じた身体の歪みを取り、シェイプアップにもつながります。</p> <p>内容：講師の方も赤ちゃんの人形を使い、見本となってくれることで、難しくなく出来ていました。講座中に赤ちゃんが泣くこともなく、参加者から笑い声も起きる良い雰囲気。暑い日で、汗をかくこともあったが、日頃なかなか運動が出来ない親には、適度な運動量でした。参加者が新栄・早瀬地区であり、つくしんぼサロンでも一緒のことから親同士の交流が出来ました。</p>	29年8月19日 年1回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ボランティア	<p>目的： ①小学生の福祉教育の場としてボランティア体験を通じて、日常的な場面でのちょっとした手助けができるようになるためのきっかけ作りとなります。 ②ボランティア活動をはじめるためのきっかけ作りです。</p> <p>内容： ①せせらぎ昼食会での活動を中心にボランティアの育成・活動支援を行いました。 ②勝田小学校と協力し、小学校の4年～6年生からボランティアを募集し、昼食会の支援をしました。配膳や会話、歌を通じて、高齢者と相互に交流を図りました。</p>	毎月 第3土曜日 全9回開催



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でスタンプラリー	<p>目的：新栄・早瀬エリア（仲町台・勝田含む）子育てネットワーク連絡会から発案。支援者の活動を広く子育て中の母親に知ってもらえるように地域ぐるみで子育て支援を行います。楽しみながら母親同士の交流も深められ、スタンプラリーをきっかけに母親に地域活動を知ってもらいます。地域連携をし、身近な子育て情報の提供を行い、参加者と支援者も情報共有をします。</p> <p>内容：各子育て支援会場をスタンプラリーで回りました。地域ぐるみで子育て支援を行うことで、育児不安や負担感を軽減するための相談しやすい環境づくりが出来ました。地域連携で、身近な子育て情報が参加者と支援者で共有。子育て支援に関するネットワークが形成されたことで、地域全体で子育てを応援する風土が伝えられました。</p>	<p>29年11月22日 から30年2月7日</p> <p>全7回開催</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども木工教室	<p>目的：新栄早瀬地区元気が出る協議会を、平成30年度に地域で立ち上げます。その前段階でこういった活動が、地域で出来るということを伝えます。担い手となる方々に、事業開催のノウハウを伝え、平成30年度からの事業を地域開催出来るよう支援します。新栄早瀬連合エリアで子ども向け事業を開催し、若い世代にも自治会機能を理解してもらいます。</p> <p>内容：新栄早瀬地区元気が出る協議会が、平成30年度に地域で立ち上がるため、プレ事業として実施。講座の開始前に、担当者から参加者親子へ、元気が出る協議会についての説明。事前に講師が、キットを細かく作ってきてくれたため、スムーズに始められました。親子の参加者は親が上手くリードして、順調に進められ、全員完成できました。</p>	<p>30年3月3日土曜日 年1回開催</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
新栄みんなの食堂	<p>目的：子供たちのコミュニケーション能力を伸ばすために、様々なコミュニティで、自分とは環境の異なる人々と出会い、食を通じて、交流を行います。貧困家庭の子供、ひとり親家庭の子供、留守家庭などで普段一人で食事をする事の多い子供、学校のクラスになじむことのできない子供など、様々なバックグラウンドをもつ子供の支援につながることを目的とします。災害時の炊き出しの練習体験。事業へ協力していただける方を増やし、地域のコミュニティの場、情報交換の場を作ります。</p> <p>内容：11時から昔遊びを開始、①びゅんびゅんゴマ作り②シャボン玉体験③折り紙教室④ヨーヨー釣りの4カ所のブースを作った。受付でシール台紙を配布し、各ブースでシールを貼ってもらい、全カ所を回ってもらいました。12時前にカレーが出来上がり、本日の大人の参加者全員の紹介を行いました。予定通り12時に、みんなで一斉に食事を食べ始め、大人も満足できました。</p>	<p>29年8月25日 年1回開催</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
TAKE10！	<p>目的：区内地域ケアプラザの生活支援コーディネーター合同事業で開催します。高齢者にとって日頃から食事と運動を継続して行うことは健康を維持するために不可欠であると言われています。そのことを区内在住の高齢者にさらに普及啓発をするためには、都筑区内食事を提供している地域活動、サークル主催者を対象により食生活や運動の大切さを学んでもらい、それぞれの活動の場で学んだことを実践してもらうことが重要としました。</p> <p>内容：初回（1/22）は、大雪のため中止。それにより、5回コースから4回コースへと変更。全コースを通じて、都筑区内食事を提供している地域活動、サークル主催者に参加してもらい、食生活や運動の大切さを学んでもらうことが出来ました。毎回交流時間を設け、活動の悩みの共有や情報交換することが出来ました。それぞれの活動の場で学んだことを実践してもらうことを強調しました。</p>	<p>平成29年1月から 年4回開催</p>

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **新栄地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者家族のつどい	介護者	¥1,887	地活						
	28		包括	¥1,887			¥1,887		
	無料		生活						
コグニサイズ勉強会	高齢者	¥21,192	地活						
	47		包括	¥21,192			¥14,226	¥4,616	¥2,350
	無料		生活						
シニア世代の学びの場	高齢者	¥29,789	地活						
	51		包括	¥29,189	¥600		¥24,499	¥2,440	¥2,750
	無料		生活						
シニア世代の学びの場Ⅱ	高齢者	¥77,865	地活						
	80		包括	¥77,865			¥20,045	¥798	¥57,022
	無料		生活						
いきいき元気生活	高齢者	¥4,570	地活						
	25		包括	¥4,570					
	無料		生活					¥4,570	
地域リーダーのためのコグニサイズ勉強会	一般	¥12,950	地活						
	19		包括	¥12,950			¥12,000		
	無料		生活					¥950	
唄って元気！音楽を楽しむ講座	高齢者	¥50,112	地活						
	133		包括	¥23,512	¥26,600		¥50,112		
	無料		生活						

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **新栄地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
憩いのひろば	高齢者	¥59,098	地活	¥3,198	¥49,500	¥6,400	¥5,568	¥53,530	
	665人		包括						
	¥100		生活						
新栄お話しの国	未就学児と保護者	¥0	地活						
	196人		包括						
	無料		生活						
小学生ボランティア	小学生	¥20,000	地活	¥20,000					¥20,000
	65人		包括						
	無料		生活						
男性のセカンドライフ講座	高齢者	¥0	地活						
	25人		包括						
	無料		生活						
レコードカフェ	一般	¥28,183	地活	¥4,083	¥24,100			¥28,183	
	291人		包括						
	¥100		生活						
新栄子育てサロン	未就学児	¥0	地活						
	297人		包括						
	無料		生活						
新栄早瀬夕涼みのつどい	地域 一般	¥19,623	地活	¥123		¥19,500		¥19,623	
	301人		包括						
	無料		生活						
MGCRS夕涼み会	地域 一般	¥19,278	地活	¥28		¥19,250		¥19,278	
	222人		包括						
	無料		生活						
ボランティア交流会	地域ボランティア	¥3,845	地活	¥3,845				¥3,845	
	12人		包括						
	無料		生活						
つくしんぼサロン	乳幼児	¥0	地活						
	230人		包括						
	無料		生活						
新栄地域ケアプラザ祭り2017 (ケアプラザ祭り)	地域・一般	¥99,585	地活	¥24,085		¥75,500	¥11,568	¥60,982	¥27,035
	1000人		包括						
	¥100		生活						
15周年記念 新栄ステージ発表会	地域・一般	¥1,268	地活	¥1,268				¥1,268	
	127人		包括						
	無料		生活						

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名		新栄地域ケアプラザ							
事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
勝田茅ヶ崎わいわい子育てサロン	未就学児	¥0	地活						
	345人		包括						
	無料		生活						
茅ヶ崎南子育てサロン	未就学児	¥0	地活						
	203人		包括						
	無料		生活						
せせらぎフレンズなつ2017	障害児	¥18,674	地活	¥174	¥3,500	¥15,000	¥3,000	¥2,574	¥13,100
	21人		包括						
	¥700		生活						
せせらぎフレンズはる2018	障害児	¥7,949	地活	¥2,949	¥2,000	¥3,000	¥3,000	¥2,549	¥2,400
	19人		包括						
	¥500		生活						
年末おそうじ隊	地域・貸室団体	¥0	地活						
	26人		包括						
	無料		生活						
茅ヶ崎南MGCRS合同防災訓練	地域・一般	¥0	地活						
	51人		包括						
	無料		生活						
薬膳料理教室	地域・一般	¥8,331	地活	¥2,031	¥6,300			¥8,331	
	9人		包括						
	¥700		生活						
サンタクロース講座	地域・一般・シニア男性	¥16,459	地活	¥9,459	¥7,000		¥5,568	¥8,891	¥2,000
	7		包括						
	¥1,000		生活						
ママと赤ちゃんのための健康講座	乳幼児	¥0	地活						
	72人		包括						
	無料		生活						
シニアボランティア受入登録研修会	高齢者	¥0	地活						
	7		包括						
	無料		生活						
ポールウォーキング	高齢者	¥5,400	地活		¥5,400		¥5,400		
	9		包括						
	¥600		生活						
横浜子育てサポートシステム説明会	未就学児の保護者	¥0	地活						
	4		包括						
	無料		生活						

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

新栄地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ジャズバンドショー	地域・一般	¥5,568	地活	¥1,168	¥4,400		¥5,568		
	44人		包括						
	¥100		生活						
環境絵日記展	地域・一般	¥0	地活						
	584人		包括						
	無料		生活						
貸室利用団体交流会	高齢者	¥0	地活						
	19人		包括						
	無料		生活						
親子deリトミック	未就学児	¥0	地活						
	15人		包括						
	無料		生活						
手打ちそば体験交流会	高齢者	¥0	地活						
	26人		包括						
	無料		生活						
ベビーヨガ&ママヨガ	未就学児と母親	¥0	地活						
	8人		包括						
	無料		生活						
親子でスタンラリー	未就学児と母親	¥0	地活						
	27人		包括						
	無料		生活						
こども木工教室	小学生	¥0	地活						
	11人		包括						
	無料		生活						
新栄みんなの食堂	小学生	¥6,848	地活	¥3,448	¥3,400		¥1,113	¥5,735	
	47人		包括						
	¥100		生活						
出前講座	地域・一般	¥0	地活						
	176人		包括						
	無料		生活						
TAKE10!	地域・一般	¥11,245	地活						
	54人		包括						
	無料		生活	¥11,245					¥11,245